



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

イザヤ 40・21～26

創造者なる神

目を高くあげて、だれが、これらのものを創造したかを見よ。

イザヤ 40・26

目標

神が万物の創造者であることを覚えて生きる。

## 7月2日(日)

聖書  
聖句

イザヤ 40・26

目を高くあげて、だれが、これらのものを創造したかを見よ。 26節

科学では、世界やそこに起きることが「どのようにしてできたか」を観察したり、記録したり、計算することはできるけど「だれが?」ということとは考えないよね。

聖書では、地球にあるすべてのものから、「だれが」造ったか見てごらん!と言っているよ。人が作った便利なものにも、作られた意味や目的やつくった人があるように、この宇宙や地球、生き物やわたしたちのことを造られた方がいて、目的や意味がある!この世界のこと、聖書からもたくさん知りたいね!

祈り

天のお父様、聖書から、あなたが造られた世界を見ることができますように。

## 7月3日(月)

聖書  
聖句

イザヤ 40・21

地の基をおいた時から、あなたがたは悟らなかつたか。 21節

わかっているはずなのに、いろいろと理由をつけてはみとめない、まるで自分で作ったものや考えたことが一番だと思う、これが人間。

宇宙やたくさんの星を造り、大きな大きな世界にわたしたちを置いてくださった神様のわざを、「科学」や、「人間が作り出した神」におきかえてしまっているんだね。

心の中から「自分が一番」と思う気持ちや「ガンコ」な気持ちをおいだせば、神様のこと、もっとよくわかるようになるんじゃないかな?

あなたはどうですか?

祈り

天のお父様、かたくなにならないで、心をはらいて、あなたのことを知ることができますように。

## 7月4日(火)

聖書  
聖句

イザヤ 40・22

主は地球のはるか上に座して、地に住む者をいなごのように見られる。 22節

ここにある「地球」は、もともと「地の丸み」とか「円」という言葉なんだって。地球が平たいものだと思われていたところが昔あって、この聖書の言葉を見たコロンブスは「地球は丸い」と言ったとか!そしてほんとに丸かった!

「天を幕のようにひろげ」というのもおもしろいね。宇宙はすごい速さで大きくひろがっている、知ってる?

聖書っておもしろくて、ふしぎで、だれも知らなかったときから、正しいことを教えてくれる教科書のようなだね!

祈り

天のお父様、聖書は地球のことも正しく記されたものだと思いました。

## 7月5日（水）



イザヤ 40・22

主は地球のはるか上に座して、地に  
住む者をいなごのように見られる。  
23節

宇宙のこと、考えたことある？

たとえば太陽から地球までは1億5000万km  
あって、時速100kmで1日24時間×171年かけて  
やっと到着する距離！宇宙っておそろしく大  
きいね！

ある人は、この宇宙が「神様」だと思うみた  
い。神様の目から見たら、ちっぽけなわたした  
ちが考える神様もまた、ちっぽけなものだな  
あとと思いませんか？

神様の手におさまらないものはない。神様は  
人の想像をはるかにこえたお方です！

いの  
祈り

天のお父様、あなたは、わたしたちが  
想像できるすべてのものよりも、もっと  
大きなお方です。

## 7月6日（木）



イザヤ 40・23~24

もろもろの若を無きものとせられ、  
地のつかさたちを、むなしくされる。  
23節

「この人にさからったらこわい」って思う人  
はいますか？ある人には、お父さんやお母さん、  
ある人には会社のえらい人、ある人にはおまわ  
りさん、ある人には王様かもしれません。

人は自分より力がある人、自分におそろし  
いことをするかもしれない人をこわいと思っ  
てしまうんだね。

でも、どんな人もどんな力も、神様の前  
にはちっぽけなもの。神様を信じる人、神様にし  
たがって生きる人には、この神様がついておら  
れると思うと、もうなにもこわくないよね！

いの  
祈り

天のお父様、あなたがついてくださ  
るので、こわくありません。あなたにし  
たがって生きます。

## 7月7日（金）



イザヤ 40・25

それで、あなたがたは、わたしをだ  
れにくらべ、わたしは、だれにひと  
しいというのか  
25節

だれもが心のどこかで、自分に幸せをくれ  
る、救ってくれる神様を探しているんだろうな。  
そのしょうこに、昔から、どの国の人たちも大  
きな像や建物を建てたり、木や金で神様の形  
を作ってみたり、神様と交信しようとしたり、  
パワースポットに行ったりするもんね。

でも、人を造った神様は、人の目に見えるも  
のでもないし、自分から出かけていかないと会  
えないとか、形にしないといけないお方では  
ないよね。この世界のどんなものも、神様とく  
らべることはできないよね！

いの  
祈り

天のお父様、この世界であなたとくらべ  
られるものはなにもありません！

## 7月8日（土）



イザヤ 40・26

主は数をしらべて万軍をひきいだ  
し、おのおのをその名で呼ばれる。  
26節

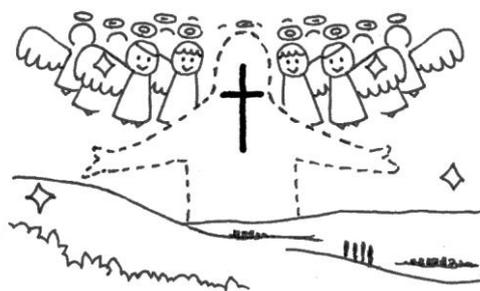
あなたには、尊敬している人っていますか？  
その人がりっぱであればあるほど、なんだか  
自分とはとおいような気持ちになるよね。

でもね、神様はとおい存在ではないんだって。  
この世界のたくさんの星たちや生き物、わたし  
たちを造られた神様は、ひとつひとつ、一人ひ  
とを知り、愛し、名前を知っておられるんだ  
ね！そして、今日も、これからも、すべてを知っ  
てくださる神様の愛とお守りの中で生き  
ていけるなんて、すごいことだね！

神様、ありがとう！

いの  
祈り

天のお父様、小さなわたしのことも知っ  
ていて、愛し、守っていてくださること  
をありがとうございます！



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

イザヤ6・1~7

聖なる神  
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の主、その栄光は全地に満つ。 イザヤ6・3

目標

神が聖なるお方であることを覚えて生きる。

7月9日(日)

聖書  
聖句

イザヤ6・3

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の主、その栄光は全地に満つ。 3節

天使が神様を賛美するとき「聖なる」だけじゃたりず、「聖なる、聖なる」でもまだたりず、「聖なる、聖なる、聖なる」というしかないくらい、神様はきよい、聖なるお方なんだね。

わたしたちが知っている「きよい」だと、「顔がキレイ」「心がきれい」くらいしか思いつかないね。そう、わたしたちが知っているきよさは目に見えるか、思いつくものでしか考えられないけれど、神様はことばでは表せない、どこまでも「聖い」お方なんだね！

祈り

天のお父様、あなたは想像をはるかにこえた「聖い」お方であることを知りました。

7月10日(月)

聖書  
聖句

イザヤ6・1

わたしは主が高くあげられたみくらに座し、その衣のすそが神殿に満ちているのを見た。 1節

ウジヤというすばらしい、りっぱな王様にかえていたイザヤは、主様がなくなったときにこの経験をしました。

神様を知っていたつもり、したがっていたつもりでも、じつは「そこに神様がおられること」を体験したことがなかった…それはイザヤだけじゃなくて、わたしたちもだよな？

自分がいちばんたよりにしていたなにかがなくなったとき、ほんとうにいちばんたよりにすべきお方を見ることが出来るチャンスなんだね。

祈り

天のお父様、あなたがここにおられることを、わたしにも体験させてください。

7月11日(火)

聖書  
聖句

イザヤ6・2

その上にセラピムが立ち、おのおの六つの翼をもっていた。 2節

六つの翼がある天使たちの名前はセラピム。それを見ただけでもなにかとんでもないものを見てしまった！と思うだろうね。

けどどうだろう。そんな天使たちも顔をかくし、足をかくし、「神様の前では、わたしたちはちっぽけなものです」と言っているかのうだね！

そんな神様のことを、べつ次元の、とおくはなれた知らない人のようではなく、「天のお父様」と呼び、おいのりができるなんて、すごいことじゃない！？

祈り

天のお父様、あなたは天使もおそれるほどのお方なのに、こうして天のお父様と呼ぶことを感謝します。

## 7月12日(水)

聖書  
聖句

イザヤ6・4

その呼ばわっている者の声によつて敷居の基が震い動き、神殿の中心に煙が満ちた。 4節

自分の考え方や生き方がまったく変わってしまうことにであったとき「人生がひっくり返った」とか「考えをゆり動かされた」ということがあるんだ。あなたはまだ若くて、そんな地震にでもあうようなできごとはないかもしれないね。

でもね、神様に会うこと、神様がどんなお方で、わたしたちになにをしてくださったかを知るなら…それがあなたにとって心からのものであればあるほど、あなたの人生はゆり動かされ、ひっくりかえるんだよ！

いの  
祈り

天のお父様、小さなわたしの考えや生き方を、あなたはひっくり返してくださるお方です。

## 7月13日(木)

聖書  
聖句

イザヤ6・5

わざわざいなるかな、わたしは滅びるばかりだ。 5節

神様に会うまで知らなかったこと。それは自分の心が罪でまっ黒だったということ。罪があるままでは神様によるこぼれないこと。

イザヤは神様の「聖さ」を見たとき、今まで人やまわりばかりを責めていたこと、自分の国だけ救われればいいと思っていたこと…自分だけは正しいと思っていたけど、なんておろかで、どうしようもない、けがれた者だろうと気づかされたんだ。

神様の前に出る、ということは、自分の罪の大きさを知ることなんだね。

これはとてもたいせつなことなんだよ。

いの  
祈り

天のお父様、わたしもあなたの前にでるなら、自分が正しくきよいとは言えない者です。

## 7月14日(金)

聖書  
聖句

イザヤ6・6~7

見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は除かれ、あなたの罪はゆるされた。 7節

神様がどこまでも「聖い」ということは、罪の世界をかんぜんに入れられないということです。だけど、神様は「まったく聖い」と同時に「まったく愛」のお方です。

それは「あなたは罪でけがれているから、わたしにふさわしくない」「滅びればいい」と、わたしたちに罪があるままほったらかしにしない、ということです。

「わたしは罪人です」とみとめて神様の前にでるとき、人を愛してやまない神様は、その罪を完全にとりのぞくことのできるお方です。

いの  
祈り

天のお父様、わたしの罪をかんぜんにとりのぞいて、きよくしてください。

## 7月15日(土)

聖書  
聖句

イザヤ6・6~7

見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は除かれ、あなたの罪はゆるされた。 7節

神様を信じている人ならきっと、イザヤと同じようなふしぎな体験をしたい！と思うよね！でも、あなたにもすでに、このふしぎな体験は起きたのを知っていますか？

イザヤは、天使が運んだ祭壇の炭火を口にふれて罪が赦されたけれど、わたしたちは、イエス様の十字架の死がわたしのためだった！と受け入れたときに、罪が赦されたんだね。

天使よりもすばらしい、神様のひとり子イエス様がこれをしてくださったんだもの！

罪はかんぜんに赦された、信じますか？

いの  
祈り

天のお父様、イエス様によってかんぜんに罪が赦されたと信じます。



聖書	1ヨハネ4・7~11
テーマ	愛なる神
暗唱聖句	神は愛である。 1ヨハネ4・8
目標	十字架に示された神の愛を見え、神を愛し、人を愛して生きる。

1ヨハネ4・7~11  
 愛なる神  
 神は愛である。 1ヨハネ4・8  
 十字架に示された神の愛を見え、  
 神を愛し、人を愛して生きる。

## 7月16日(日)

聖書  
 聖句

1ヨハネ4・7

わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。 7節

「愛しあおう！」と書いたのは、十二使徒のひとり、ヨハネ。彼は「愛の使徒」とよばれるくらい、愛でいっぱいの人でした。でも、はじめから愛のある人だったわけではないんです。もともとは、おこりんぼうだったみたい！でも、神様の大きな愛を知って、愛の人に変えられたんです。

家族への愛、お友だちへの愛、いろんな愛があると思うけど、そもそも愛は神様からでたもの。あなたを変えてくださるほどの神様の愛、本当の愛をしっかりとめてください。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの大きな愛を、わたしに教えてください。わたしを愛の人に変わってください。

## 7月17日(月)

聖書  
 聖句

1ヨハネ4・8

愛さない者は、神を知らない。神は愛である。 8節

「愛さない者は、神を知らない」ですって！あなたには、きれいな人がいますか？お友だちといっしょに、だれかの悪口を言ったりしていませんか。神様を信じているはずなのに、人をきらったり、悪口を言ってしまう。それは、ほんとうに神様のことを知らないからなのです。だって、神様は愛なんですから。神様の愛は、どんな人も愛する愛です。神様の愛をほんとうに知ったら、きらったり、悪口なんて言わなくなります。

ドキッとした、あなた。もっと神様のことを知るひつようがあります。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが愛であると知りました。あなたをもっと知って、愛することができる人になりたいです。

## 7月18日(火)

聖書  
 聖句

1ヨハネ4・9

神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。 9節

ひとり子、というのは「ひとりっこ」という意味ではないんですよ。けっして、だれも代わりになることはできない、たったひとりの子、という意味。

父なる神様にとって、イエス様ほど大切な存在はありませんでした。代わりになる存在なんてありませんでした。これだけは、だれにもわたしたくない、というくらいに大切なひとり子イエス様を、わたしたちのためにつかわしてくださいました。神様が、どんなにあなたを愛しているか、伝わってきませんか。

いのちの祈り 天のお父様、あなたにとっていちばん大切なイエス様をつかわすほど、わたしを愛して下さり、本当に感謝します。

## 7月19日(水)

聖書  
聖句

Iヨハネ4・9

それによって、わたしたちに対する  
神の愛が明らかにされたのである。  
9節

ひとり子イエス様さえおしまないで、わたしたちのためにつかわして下さった神様。そのことによって、「神様は、ほんとうにわたしたちのことを愛してくださっているんだ!」ということがハッキリわかるでしょう!

ただ口だけで「愛していますよ」と言っても、それがほんとうかどうか、わからないですね。でも、神様は口だけじゃありません。愛をしつかり行動にうつして、愛がわかるようにしてくださったんです。ちゃんと行動にうつす愛が、わたしたちにもひつようですね。

いの祈り 天のお父様、あなたのように、口先だけでなく、愛をおこなう人にならせてください。

## 7月20日(木)

聖書  
聖句

Iヨハネ4・10

わたしたちが神をあいしたのではなく、神がわたしたちを愛してくださって、  
10節

わたしたちは、神様からはなれて、神様にたいして罪をおかしてきた存在です。罪をなかったことにはできない、永遠のほろびに行くしかない。でも、なんと神様のほうから「ゆるしてあげたい、救ってあげたい!」と、わたしたちに愛をしめしてくださったのです。

自分にたいして悪いことばかりする人に、「ゆるしてあげたい!」と思える? 「あんな人ゆるさない!」と思ってしまうのでは? でも神様はちがう。罪だらけのわたしたちなのに、神様のほうから愛してくださったのです。

いの祈り 天のお父様、あなたにたいして罪だらけのわたしを、あなたのほうから愛してくださいました。心から感謝します。

## 7月21日(金)

聖書  
聖句

Iヨハネ4・10

わたしたちの罪のためにあがないの  
供え物として、御子をおつかわしに  
なった。ここに愛がある。  
10節

わたしたちの罪がゆるされるためには、イエス様が罪のみがわりに十字架にかかるしか、方法はありませんでした。父なる神様にとって、なにより大切なイエス様を十字架につける。神様がどんなにつらく、くるしい思いをされたか、考えたことがありますか。胸が引きさかれるような思いをしながら神様は、わたしたちが滅びないようにイエス様をつかわされたのです。

こんな大きな愛は、ほかにありません。ほんとうの愛を持っておられるのは、神様だけです。

いの祈り 天のお父様、あなたはどんなにつらくても、わたしの罪をゆるすためにイエス様をつかわされました。それほどまで、わたしを愛してください、感謝でいっぱいです。

## 7月22日(土)

聖書  
聖句

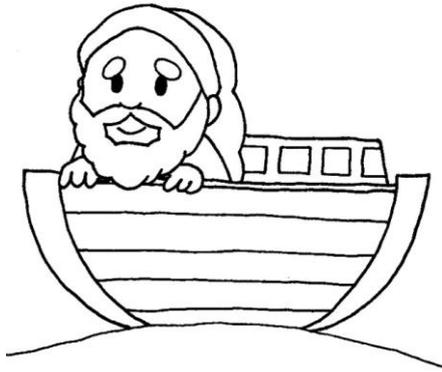
Iヨハネ4・7~11

神がこのようにわたしたちを愛して  
下さったのであるから、わたしたちも  
互に愛し合うべきである。  
11節

これほどまでに、わたしたちを愛してくださる神様。わたしたちも心から神様を愛しましょう。そして、人をきらったり、悪口を言うのではなく、たがいに愛し合うようになること。これが神様のみこころ、神様のわたしたちへの願いです。だから、まず神様がわたしたちに愛を教えてくださいました。

クリスチャンの、いちばんの特徴はね、「神様と人を愛する」人だということ。神様の愛を知った人は、心から愛することができる人になるのです。

いの祈り 天のお父様、あなたを心から愛します。わたしを、人々を心から愛することのできる人にならせてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記7・1~24  
箱舟なるキリスト  
あなたと家族とはみな箱舟には  
いりなさい。 創世記7・1

目標

箱舟なるキリストを信じ、その  
救いの中に入る者となる。

## 7月23日(日)

聖書  
聖句

創世記7・1~24  
あなたと家族とはみな箱舟にはいり  
なさい。 1節

ノアが六百才の2月17日に起こった大洪水。想像できますか？日本に、2011年3月11日に起こった地震と津波！ここは大丈夫と思っていた高い所も津波に押し流されました。ノアの大洪水の時も人々は高い山にのがれましたが、地は全面、全く水におおわれてしまい、箱舟の外の生き物はすべて滅びてしまったのでした。生き残ったのは、箱舟の中のノアたち、たった8人だけでした。今、私たちが入って救われる箱舟とは、「イエス様」です。信じて救われよう！

いの  
祈り

天のお父様、この世は罪と汚れの大洪水です。イエス様を信じて罪の中から救われま  
す。救いの箱舟を感謝します。

## 7月24日(月)

聖書  
聖句

創世記7・1~5  
あなたと家族とはみな箱舟にはいり  
なさい。 1節

今週の暗唱聖句です。もう覚えましたか？きょう注目したいのは、「あなたの家族」、特に、『家族』という言葉です。ノアの家族は、奥さんと、3人の息子たち、そしてそのお嫁さんたちで、合計8人家族でした。その8人だけが洪水から救われました。神様は、家族ぐるみ救おうとしておられるのです。あなたの家族は何人なのかな？みんなクリスチャンなら大感謝！まだの人がいたら、「救ってください」と神様にしっかりお祈りし続けましょう。

いの  
祈り

天のお父様、あなたは家族みんなの救いを願ってくださり感謝します。私の家族も全員救われますように。

## 7月25日(火)

聖書  
聖句

創世記7・1~5  
ノアはすべて主が命じられたように  
した。 5節

誰もが一つの口と二つの耳を与えられています。神様が、「よく聞くのですよ。聞くことが一番大切ですよ」とおっしゃっておられるようですね。ノアはでっかい耳を二つ与えられていたのでしょうか？いいえ、耳の大きさではなく、神様のみ声がよく聞ける、心の耳がしっかり開かれていたのです。だから、よく聞こえて、そしてちゃんと言われたとおりにできたのですね。これを従順、すなおに従う心と言います。すなおに従う心で聞いてこそ、はじめて聞いたことになります。

いの  
祈り

天のお父様、救いのためには、ノアのよく聞こえた心の耳と、すなおに従う心が大切だったことを知りました。

## 7月26日(水)

聖書  
聖句

創世記 7・1~5

また空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ取って、その種類が全地のおもてに生き残るようにしなさい。 3節

「清い獣の中から雄と雌とを二つずつ」「空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ」取るように、との神様の命令でした。ノアはすべて、神様が命じられるようにしたのでした！ 小さな犬や猫やうさぎやらをつかまえるのはいいけど、それでも逃げ回られると大変！ 大きな動物やこわそうな動物、それに空の鳥もつかまえるのですから、大変だったのかなアとおもってしまいます。きっと神様の助けがあったのでしょう。

**いの祈り** 天のお父様、あなたのご命令が大変に思えても、あなたの方から助けてくださってできると信じます。

## 7月27日(木)

聖書  
聖句

創世記 7・6~12

こうして七日の後、洪水が地に起った。 10節

「七日の後、わたしは四十日四十夜、地に雨を降らせて、わたしの造ったすべての生き物を、地のおもてからぬぐい去ります」(4)と、神様はノアに言われました。「あと七日かない」とノアは心ひきしめる思いで聞いたことでしょうか。なぜなら、神様が言われたことは、必ずその通りになるということを知っていたからです。ノアは人々に洪水のことを伝えたにちがいありません。でも人々は、ノアと家族のことをバカにして聞く耳をもたなかったのです。

**いの祈り** 天のお父様、あなたの言われたとおり、七日後に洪水が起こり、四十日四十夜、雨でした。み言葉に聞き従います。

## 7月28日(金)

聖書  
聖句

創世記 7・13~16

そこで主は彼のうしろの戸を閉ざされた。 16節

電車にすべり込み「セーフ！」で乗り込んで、うしろの戸がスーッとしまったなんて経験ありますか？ ひや汗ものかもしれません。今は電車の戸も、自分で閉めるものはほとんどないでしょう。ノアの箱舟の入口の戸も、実は、ノアや家族の誰かが閉めたものではありませんでした。「主は彼のうしろの戸を閉ざされた」とありますから、まちがいがなく神様でした！ するともう絶対に外から入れません。救いの戸は閉ざされたのです。でも、「キリストの救いの戸」は、今も開いているから大丈夫！

**いの祈り** 天のお父様、今はまだイエス様による救いの戸はオープンなので感謝です。家族みんなが救われますように。

## 7月29日(土)

聖書  
聖句

使徒行伝 16・25~34

主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 31節

このみ言葉の約束が、どんなに真実であるか、たくさんの家族が声をそろえて、「アーメン」と言うにちがいありません。この場面は、パウロとシラスが足かせをかけられ牢獄に入れられて、最悪と思えるところです。しかし、ふたりは神に祈り、さんびを歌いつづけ、そこに神様による大地震が起こり、獄の戸があき、囚人の鎖がとけるといふ奇跡！ しかし、もっと大きな奇跡は、この獄屋番とその家族が主イエスを信じ救われ、バプテスマを受けたことでした！

**いの祈り** 天のお父様、家族の救いのための素晴らしいお約束のみ言葉をありがとうございます。信じて祈っていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記12・1～9  
神による旅立ち  
あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。創世記12・1  
罪から離別し、神の導きに従って生きる者となる。

目標

## 7月30日(日)

聖書  
聖句

創世記 12・1～9  
あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。 1節

夏休みです。家族旅行の計画なんかうれしいですね。何泊するのかな？どこまで行くのかな？もちろんおうちの人たちは、ちゃんと目的地も旅費も帰ってくる日も決めて実行します。アブラムさんは、と言うと…「えー、どこへ行くのかわかりません。あー、何日旅に出るのかわかりません。う～ん、いつ帰ってくるのか、もう帰らないのかわかりません」というような旅立ちでした！ただし、まことの神様を信じて、神様の導きにお従いする旅でした。

祈り 天のお父様、アブラムさんたちのために、あなたはきっと素晴らしいご計画を持って導かれたのだと信じます。

## 7月31日(月)

聖書  
聖句

創世記 12・1～3  
あなたは祝福の基となるであろう。 2節

池の中に小石をひとつポトンと投げ込むと、どうなりますか？そこから、波紋がずん、ずん、ずんと広がっていきますね。神様はアブラムさんをその小石のように、そう、祝福の輪を広げていく小石のように選ばれました。お父さんのテラと出てきたそのウルの町は、月や星を拝む偶像崇拜の町でした。そこからきっぱり離れました。そして神様の導きにお従いしていく時、アブラムさんは祝福され、祝福の基として祝福を広げていくとの約束でした。

祈り 天のお父様、祝福の輪を広げる小石になれるなんて最高です。私もアブラムさんのようにあなたを信じ、あなたに従いたいです。

## 8月1日(火)

聖書  
聖句

創世記 12・4～5  
アブラムは主が言われたようにいで立った。 4節

新しい出発！と言っても、ピカピカの一年生ではありません。アブラムさんはなんと七十五才、そのお年で、新たな旅立ちでした。「主が言われたようにいで立った」のでした。いくつになっても、どんな時でも、どんな所へでも、どんな人とも、どんなことでも従う、これが本物の信仰なのですね。アブラムさんと奥さんのサライさん、弟の子、つまりおいのロトさん、集めたすべての財産プラス何人かの人々が旅行団でした。団長は神様でしたね！

祈り 天のお父様、あなたが言われたようにお従いする信仰をもって、アブラムさんのように祝福の基とされたいです。

## 8月2日（水）

聖書  
聖句

創世記 12・6～9

そこに彼は主のために祭壇を築いて、  
主の名を呼んだ。 8節

アブラムさんがいつも神様を一番にしていたのがよくわかります。神様に示されたカナン  
の地に来て、モレのテレピンの木のもとに着いた  
アブラムさんに、神様が現れてくださって、  
「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」  
と言われました。アブラムはそこに主のために  
祭壇を築きました。さらにベテルの東の山に  
移って、またそこにも祭壇を築きました。神様  
とお話できる所、今は十字架のもとですね。  
十字架の祭壇の前でお祈りしましょう。

**祈り** 天のお父様、そこに行くといつでも十字架  
を仰いで、お祈りができるような、お祈り  
の場所をつくり、祈ります。

## 8月3日（木）

聖書  
聖句

創世記 13・1～7

アブラムの家畜の牧者たちとロトの  
家畜の牧者たちの間に争いがあった。  
7節

おっとっと、祝福の基軍団の中に、争いが  
起こってきてしまいましたよ。アブラムさんは  
家畜もいっぱい飼っていたし、金銀にも非常に  
富んでいました。おいのロトさんも、羊、牛、  
そして天幕を持っていたのです。それで、彼ら  
の家畜が多すぎるようになってしまい、その  
地ではおさまり切れなくなったのでした。そう  
なると、それぞれの家畜の牧者たち同士が争い  
始めてしまいました。財産や持ち物が十分に  
あると、とかく問題が起こりやすいですね。

**祈り** 天のお父様、豊かに祝福されている中  
でも、すべてはあなたからの恵みであること  
を決して忘れてないで、平和に過ごしたい  
です。

## 8月4日（金）

聖書  
聖句

創世記 13・8～1

アブラムはカナンの地に住んだが、ロ  
トは低地の町々に住み、天幕をソドム  
に移した。 12節

「身内同士で争うのは良くない。私たちは  
別れましょう。さあ、良い地を選んでください」  
と、アブラムさんがおいのロトさんに言いまし  
た。「いえいえ、おじさん、あなたがまず選ん  
でください」と、ロトさんは言わなかったの  
です！ロトさんの心は欲の心、目は欲の目で、  
主の園のようにすみずみまでよく潤っていた  
ヨルダンの低地を先に取りました。ロトは罪び  
とたちの住むソドムに天幕を移しました。欲の  
心や欲の目で選ぶととても危険ですね。

**祈り** 天のお父様、何かを選ぶ時、どちらかに進  
む時、自分の欲の心や目で選ぶことがな  
いように、お守りください。

## 8月5日（土）

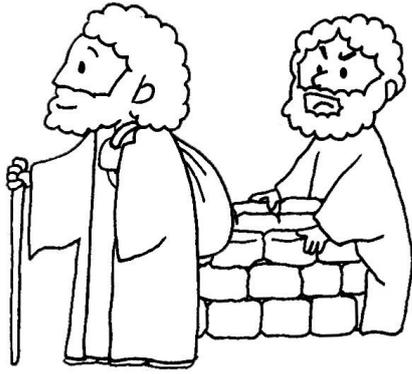
聖書  
聖句

創世記 13・14～18

わたしはあなたの子孫を地のちりの  
ように多くします。 16節

再び、神様からの祝福のお約束がアブラム  
さんに臨みました。それは、「ロトがアブラムに  
別れた後に」でした（14）。欲深いロトさんとそ  
の一行にお別れしたあとでした。何と豊かな  
神様からの祝福のお約束でしょう！あなたが  
見わたす地はすべて、永久にあなたとあなた  
の子孫に与えます。あなたの子孫を地のちりの  
ように多くします。わたしたちもアブラムさんの  
ように、偶像崇拜の罪、その他の罪から離れ、ロト  
さんのような欲からも離れましょう。

**祈り** 天のお父様、アブラムさんのように、しっ  
かりあなたに従って、豊かに祝福され、  
祝福を流れさせてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記26・12～22

イサクの井戸掘り

柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。

マタイ5・5

目標

神に信頼して、柔和な生き方を身につける。

8月6日(日)

聖書  
聖句

マタイ5・5

柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。5節

夏だね！あなたはプールで水にぷか～っと浮きたいとき、どんなふうになりますか？きつと体の力をふう～っとぬいているんじゃないかな？浮かないかも！とあばれたりしたらきつと浮かないだろうね～。

柔和っていうのは、ちょうどそんな感じ！自分の力でジタバタしないで、神様の導かれる道がどんなふうであっても神様を信じ、神様におまかせするんだ。そのとき神様は、あなたをいちばん良いところに導いてくださるよ。

イサクの話から柔和のことを考えよう。

祈り

天のお父様、わたしをいちばん良いところに導かれるあなたを信じて、おまかせします。

8月7日(月)

聖書  
聖句

創世記26・12～14

イサクはその地に種をまいて、その年に百倍の収穫を得た。12節

イサクは、住んでいた場所に飢饉が起きたので少しはなれたところにひっこしました。その場所は自分で決めたのではなく、神様が「この地にとどまるなら、わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福する」と言われた場所でした。

その言葉に従うと、イサクは飢えずにすんだだけでなく、その年にたくさんの農作物、たくさんの家畜、たくさんのしもべを持つようになったのです。

これは神様に従ったら祝福されたという、いいお手本だね！

祈り

天のお父様、わたしもあなたに従ってたくさんの祝福をいただけますように。

8月8日(火)

聖書  
聖句

創世記26・15

ペリシテびとは彼の父アブラハムの時に、父のしもべたちが掘ったすべての井戸をふさぎ、土で埋めた。15節

きのうのお話でめでたしめでたし！と思いきや…。じつはその土地に住んでいたペリシテびとたちが、イサクのことをおもしろくない、とねたんだりひがんだり。

神様に従う生き方は、もちろん祝福されるんだけど、祝福の人生というのは「事件が起きない人生」ではないんだ。争いごとや、いやがらせに巻き込まれることだってあるし、自分の立場をうばわれそうになることも。

でも、だからと言って、信じることをなげださない！それがたいせつなのです。

祈り

天のお父様、わたしも信じ続けます。

## 8月9日(水)

聖書  
聖句

創世記26・16~17

イサクはそこを去り、ゲラルの谷に  
天幕を張ってその所に住んだ。17節

この時代、井戸というのは、その土地を持っているしょうこでした。また、水がない場所だったので、人々はとても井戸をたいせつにしていたのです。水がないと生きられないしね！

ふつう、自分のものをこわされたら怒るだろうし、直してよ！とか言うよね。でも、イサクはそうしなかったんだ。

イサクは「人々と争うこと」よりも「神様が祝福してくださる」という気持ちえらんだんだね。神様の子どもとして、自分はどうするべきか？ちゃんとわかるように、わたしたちもなりたいね！

いの  
祈り

天のお父様、なにが起きても、あなたの祝福を信じ、とるべき行動をできますように。

## 8月10日(木)

聖書  
聖句

創世記26・18

イサクは父アブラハムの時に人々の掘った水の井戸を再び掘った。  
18節

イサクのお父さんアブラハムも昔、ここに井戸を掘っていたんだね。そこにもきっと、イサクが経験したような苦勞がたくさんあったんだろうな。お父さんはどうやってのりこえたかなあ？そっか、きつこうだったよね、なんて思い出したこともあったかもしれない。

あなたも、神様を信じて生きていくときに、色々な出来事があつて、どうしたらいいかわからなくなることもあるだろうね。そんなときは、信仰の先輩たちがきつといいお手本になってくれるし、たくさん教えてくれると思うよ！

いの  
祈り

天のお父様、信仰の先輩たちの姿からも、いろいろ学ぶことができますように。

## 8月11日(金)

聖書  
聖句

創世記26・19~21

ゲラルの羊飼たちは、「この水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼たちと争った。 20節

ゲラルの人たちはいじわるだなあ！もうこうなると、水がどうのこうの、じゃなくて、イサクたちが憎いんだろうね！

井戸の名前「エセク」「シテナ」は「争い」「敵意」という意味があるんだって。それは人の罪や、悪魔のすがたとおなじで、神様と、神様を信じる人たちに向けられるものなんだ。

だったらよけいに、人をうらやましがったり、いじわるしたりする、昔の自分のようにはなく、そういう気持ちからはなれなきゃね！

神様からぜったい、はなれるもんか！

いの  
祈り

天のお父様、悪魔に、あなたからひきはなされないよう、お守りください。

## 8月12日(土)

聖書  
聖句

創世記26・22

いま主がわれわれの場所を広げられたから、われわれはこの地にふえるであろう。 22節

「神様ってすごい！ありがとう！」という瞬間があなたにもあるんじゃないかな？

その喜びは、すんなりほしいものが手に入ったときよりも、お願いでお願いして、苦勞して悩んで…をのりこえたときのほうがずっと大きいはず！

じつは、悩んだり苦しかったりする中で、神様を信じることや、神様がどんなお方か、なにがたいせつなのかなど、たくさんのかげがえのないことを学んでいるんだね！

柔和、ということも身につけていくんだね！

いの  
祈り

天のお父様、悩むときにも、たいせつなことを学ばせてくださり感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記28・10～22  
神がこの所に  
まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった  
創世記28・16  
目標  
共におられる神に目を向けて生きる。

## 8月13日(日)

聖書  
聖句

創世記 28・10～22  
まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった。 16節

「えーっ、こんな所ところに教会きょうかいがあったんだー」と、今まで何回もその道みちを通とおっていても見えていなかったということがあります。心こころの目めが開ひらいていなかったのですね。ヤコブもそうでした。「えーっ、ここに神様かみさまが共ともにいてくださったのに、わたしは知らなかった」と叫さけんだのでした。それは一番大切いちばんたいせつなお方かた、共ともにいてくださる神様かみさまに、心こころの目めが向けられた最高さいこうに幸しあわせな瞬間しゅんかんでした。今いま、この神様かみさまは、信しんじるわたしとも共ともにいてくださることを知しっていますか？

いの  
祈り

天てんのお父様とうさま、肉眼にくがんでは見えないあなたを、心こころの目めを開ひらいて、いつもしっかりみながら毎日まいにち歩あるいていけますように。

## 8月14日(月)

聖書  
聖句

創世記 28・10～11  
一つの所ところに着ついた時とき、日ひが暮くれたので、そこそこに一夜いちやを過すごし、その所ところの石いしを取とってまくらとし、そこそこに伏ふして寝ねた。 11節

あなたも一人旅ひとりたびをしたことがありますか？ まだないでしょうね。子どもだけで電車でんしゃに乗のってという旅行りょこうはあるかな？ このヤコブは全くひとりぼっち、しかも初めて家いえから出でたのです。レンズ豆まめの時ときだけでなく、そのあともう一度いちど、父ちちと兄あにをだまして「祝福しゅくふく」を奪うばってしまい、もう家いえにいられなくて旅たびに出でました。夜よるになり冷つめたい石いしをまくらにして、どんなに心細こころぼそかったことでしょう。一つひとつの所ところに着ついた時とき、実はそこそこで神様かみさまがヤコブを待まっていました！

いの  
祈り

天てんのお父様とうさま、人ひとがたったひとりひとりでいる時とき、あなたが近づちかづいてくださるとわかって、ひとりひとりでいても恐こわくありません。

## 8月15日(火)

聖書  
聖句

創世記 28・12  
時に彼は夢ゆめをみた。 12節

「きょうはどんな夢ゆめが見えるのかな」と毎晩まいばん、楽たのしみに寝ねる人もあるそうです。あなたもよく夢ゆめを見ますか？ イエス様さまの夢ゆめだと最高さいこうですね！ でも、追おいかけられる夢ゆめとか、恐こわい夢ゆめとかはいやですね。ヤコブはここで、神様かみさまの夢ゆめを見たのです！ 一つひとつのはしごが地ちの上うへに立たっています。そのてっぺんは天てんに達たっしています。そしてそのはしごを、神かみの使つかいたちが上のぼったり、下くだったりしているではありませんか。夢ゆめを見させてくださるのも、実じつは神様かみさまなのでしょう。

いの  
祈り

天てんのお父様とうさま、眠ねむっている時ときに夢ゆめを見るのも不思議ふしぎです。あなたは夢ゆめによっても正ただしく導みちびいてくださり感謝かんじやうです。

## 8月16日(水)

聖書  
聖句

創世記 28・13～15

わたしはあなたの父アブラハムの神、  
イサクの神、主である。 13節

次の瞬間です！ 神様がヤコブのそばに立って言われます。「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが伏している地を、あなたと子孫とに与えよう」と。そして、子孫が地のチリのように多くなって、まわりの人たちはヤコブと子孫とによって祝福されること。何より、神様はヤコブと共にいて、ヤコブがどこに行くとしても、彼を守り、この地に連れ帰る、そして、決してヤコブを捨てず、語ったことを行うと言われます。

いの祈り

天のお父様、ヤコブのための何とすばらしい約束でしょう！ これはまたあなたを信じる私のためでもあります。

## 8月17日(木)

聖書  
聖句

創世記 28・16～17

これはなんと**いう**恐るべき所だろう。これは神の家である。これは天の門だ。 17節

眠りからさめて、神様とお会いしていた夢からもさめて、ヤコブは思わず叫びました、「まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった」。初めて家を離れ、なつかしい家族や、近所の人たちからも遠く離れて、たったひとりになっちゃって…と、とても淋しい悲しい思いをしていたヤコブには、大きな驚きであり、喜びだったのですね。これは神の家(ベテル)だ、天の門だと心がひきしまる思いもしました。もうひとりではありません。

いの祈り

天のお父様、ヤコブは初めてハッキリとあなたを見て、生まれ変わりました。わたしも心からあなたを信じます。

## 8月18日(金)

聖書  
聖句

創世記 28・18～19

その所の名をベテルと名づけた。 19節

あなたにとっても「ここ！」という記念の場所がありますか？ もちろん、生まれた所はそうですよ。ヤコブにとって、ここ、ベテル(神の家)と名づけた場所は、記念の場所となりました。初めて、神様とお会いした忘れることのできない場所でした。つまり、新しく生まれ変わって、神様と共に歩きはじめた所です。身体が生まれた所以上に、魂が新しく生まれた所、罪を悔い改めて、ゆるされ神の子とされ、水のバプテスマを受ける所(母教会)は、もっと大きな記念の場所ですね！

いの祈り

天のお父様、わたしも本気であなたとお会いして、水のバプテスマを受けて、記念の場所ベテルをもちたいです。

## 8月19日(土)

聖書  
聖句

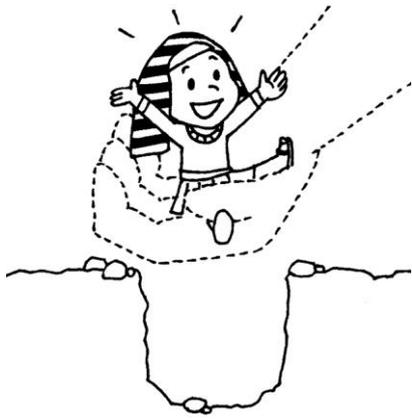
創世記 28・20～22

安らかに父の家に帰らせてくださるなら、主をわたしの神といたしましう。 21節

ヤコブは誓いを立てて、神様にお祈りします。が、たくさんの条件付きのお祈りです。「神がわたしと共にいてくださるなら」「わたしの行くこの道でわたしを守ってくださるなら」「食べるパンと着る着物をくださるなら」「安らかに父の家に帰らせてくださるなら」主をわたしの神といたしましうとね。そして、「神がくださるすべての物の十分の一をわたしは必ずあなたにささげます」と誓いを立てました。押しつける者ヤコブの性質がのぞいています。

いの祈り

天のお父様、わたしの祈りも、もしかしたら条件付きのお祈りになっていたら、おゆるしくください。改めます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記50・15~21  
すべてを良きに換える神  
神はそれを良きに交らせて、  
今日のように多くの民の命を救  
おうと計られました。

目標

創世記50・20  
すべてのことを益としてくださ  
る神を信じて生きる。

## 8月20日(日)

聖書  
聖句

創世記50・5  
神はそれを良きに交らせて、今日の  
ように多くの民の命を救おうと計  
られました。 8節

神様がみんなにねがっていること、わかるか  
な？それは、神様がえらんだ人たちがどんどん  
増えひろがっていくこと！…ってことは、せつ  
かくえらばれた人が、それをじゃましたり、い  
やだ！そんなの知らない！なんて言っていた  
ら神様の計画が進まないってこと！

神様のえらんだ人が、家族をつくり、民族に  
なっていくためになにをすればいいのかわか  
らなくて、ヨセフはよくわかっている人でした。  
神様の心に自分の心を合わせたんだね。  
あなたはどうか？

祈り

天のお父様、あなたの心にわたしの心  
もあわせられますように。

## 8月21日(月)

聖書  
聖句

創世記50・15  
ヨセフはことによるとわれわれを  
憎んで、われわれが彼にしたすべて  
の悪に、仕返しするに違いない。 15節

人生で、ずっと心の中の暗い気持ち。そ  
れは自分のしてきた悪い行いやしっばいで、  
だれかを傷つけてしまったことじゃないかな。

ヨセフのお兄さんたちも、ヨセフにした過去の  
罪のために、ずっと苦しんでいたみたい。

はっきりと「赦された自覚」がないまま過ご  
すということは、このお兄さんたちのように、  
おそれや不安、うたがいを抱いたまま過ごすこ  
とになってしまう…それではなんなんだね！

あなたの心はどうですか？

祈り

天のお父様、罪のためにだれかをおそれ  
たり不安になることがないようにお守  
りください。

## 8月22日(火)

聖書  
聖句

創世記50・16~17  
今どうかあなたの父の神に仕える  
しもべらのとがをゆるしてください。 17節

とりかえしがつかないくらい悪いことをし  
てしまったら、「ごめんなさい」と言うのさえ、  
むずかしいことがあります。お兄さんたちも、  
ヨセフに謝るのに、だれかが間に入ってくれ  
ないと、怖くて気持ちを伝えられませんでした。

イエス様は、ちょうど、罪を怒って人をさば  
く神様と、罪人の間に入ってくださった方だ  
ね。イエス様がいてくださるから「神様、ごめ  
んなさい」と言うことができるし、イエス様が  
身代りに十字架につかれたから、神様がもう  
あなたに怒ることがなくなったんだね。

祈り

天のお父様、ひととあなたの間にイエス  
様がいてくださることを感謝します。

## 8月23日(水)



創世記50・18

このとおり、わたしたちはあなたのしもべです。 18節

「しもべ」というのはどれいのこと。

昔、ヨセフのお兄さんたちは、ヨセフばかりお父さんに愛されるのが憎くて、ヨセフを売ってしまったので、ヨセフはどれいとして何年もすごしたのです。

けれどもどうでしょう。自分たちのしてきたことが原因で、お兄さんたちはヨセフに「どれいにしてください」と言うしかないのです。

自分の罪をみとめるだけでなく、罪の責任を負うというのは、とてもたいへんなことです。

だから、わたしたちにはイエス様の十字架があるんだね。イエス様、ありがとう！

いの祈り

天のお父様、わたしに負いきれない、罪の責任をイエス様が負ってください。ことを感謝します。

## 8月24日(木)



創世記50・19

恐れることはありません。わたしが神に代ることができましょうか。 19節

ヨセフは、今はどれいではなく、エジプトの大臣でした。お兄さんたちをどれいにするだけでなく、殺すこともかんたんにできる立場です。

でもどうでしょう。ヨセフはお兄さんたちを殺しもしないし、どれいにもしませんでした。

ヨセフは神様が、つらいとき、くるしいとき、共にいて、人生を導かれるお方だと知っていました。神様だけが、人のいのちを動かすことのできるお方だと、経験していたのです。

神様にすべてのことをおまかせできる人生ってすばらしいね。

いの祈り

天のお父様、わたしの人生も、あなたに全部おまかせします。

## 8月25日(金)



創世記50・20

神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計られました。 20節

人生にはときどき「いやだなあ」と思うこと、神様がわざと、あなたを苦しめようとしているように感じることもあるかもしれません。

でも、そうではありません。人生で、いろんなまちがいやしっばいや事故があるのは、たいへいはわたしたちの責任です。

神様は、そういうひとのよわさがあったとしても、かならず「良きに変わせ」ることのできるお方です。あれがあったから、今の自分があるんだ、と思わせてくださるお方だよ！

いの祈り

天のお父様、すべてのことを良きに変えてくださるあなたに信頼します。これからもともにいてください。

## 8月26日(土)



創世記50・21

彼は彼らを慰めて、親切に語った。 21節

ヨセフは、お兄さんたちを赦しただけでなく、丸ごとうけ入れて養うとまで言いました。お兄さんたちはどれほど嬉しかったでしょうね。

「赦される」ことは心を自由にして立ち上がらせる力があります。それが本当の慰めです。神様の赦しも、わたしたちの心を自由にし、喜びで満たす力があるよね。「神様ありがとう、本当にありがとう」と感謝して生きるとき、わたしたちもまた、ちょうどヨセフがだれかをゆるし、うけ入れ、慰めたような生き方ができるようになるんだろうね！いや、なろうよ！

いの祈り

天のお父様、ゆるされ、受け入れられたものとして、人に慰めをあたえる生き方ができますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 9・1~8  
罪を赦すお方  
子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ

目標

マタイ 9・2  
あらゆる祝福に先だって、罪の赦しの恵みを受け取る。

## 8月27日(日)

聖書  
聖句

マタイ 9・1~8  
子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ。 2節

中風という病気を知っていますか？ 手や足が痛くてふるえる病気です。友だちはその中風で苦しんでいる人を床の上に寝かせたままでイエス様のみもとに運んできました。イエス様はその友人たちの信仰を見て、中風の人にむかって言われました、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と！ えっ!? 罪がゆるされたですって!? と、本人もみんなも思ったでしょう。病気より罪がゆるされる方が大事なのです。

いのちの祈り 天のお父様、病気になった時、もしかしてあなたにそむくような罪を犯していないか考えてみることにします。

## 8月28日(月)

聖書  
聖句

マタイ 9・1~8  
人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために。 6節

「そんな一っ!? 罪をゆるせるのは神しかないはずだ、この人は神を汚している」と、律法学者たちは心の中でぶつぶつ言ったのです。それをイエス様はちゃんと見抜いておられました。そして今度は、中風の人に、「起きよ、床を取り上げて家に帰れ」と言われました。するとどうでしょう! 彼は起きあがって家に帰って行ったのです。病気をいやす力も罪をゆるす力もみんなイエス様は持っておられるお方です。

いのちの祈り

天のお父様、病気がなおることよりも、罪がゆるされて、滅びから救われるということが大切だとわかります。

## 8月29日(火)

聖書  
聖句

イザヤ 43・22~28  
わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。 25節

神様は、どんなにかわたしたちの罪やとがをゆるしたい、きよめたいと願っていらっしゃるかが旧約聖書の中にもいくつも記されています。ご自分の愛する民イスラエルのために、いえ、それは神様自身のためだと言われます。「とがを消す」黒板消しで、サーッとぬぐうと、何が書かれていたのかわからなくなります。そのように私のとがやあやまちを消し去ってくださり、罪を心にとめないと言ってください。

いのちの祈り

天のお父様、罪ほど心を苦しめるものはないのに、それを消し去り、心にとめないと言ってください感謝します。

## 8月30日(水)

聖書  
聖句

イザヤ 44・21~23

わたしはあなたのとがを雲のように  
吹き払い、あなたの罪を霧のように  
消した。 22節

青い空に浮かぶ白い雲、時には灰色の雲や、  
黒っぽい雲。ずっとそこにいるように見えるの  
もあれば、急ぎ足で飛んでいってしまうものも  
あります。そんな雲のように、神様が私のとが  
を吹き払って、どこに行ったのか見えなくして  
くださる！霧はめったに見えないかもしれませんが、  
もや一とかかる霧がサーッと晴れて  
なくなってしまうように、私の罪もサーッとか  
き消してどこに行ったかわからなくしてくだ  
さいます。

いの祈り 天のお父様、あなたが私のとがを雲のよ  
うに吹き払い、罪を霧のように消して晴れ  
やかな心にしてくださり感謝です。

## 8月31日(木)

聖書  
聖句

エレミヤ 31・31~34

わたしは彼らの不義をゆるし、もは  
やその罪を思わない。 34節

犯してしまった罪を忘れさせないで何度も思  
い出させては、私たちを苦しめるのは悪魔です。  
「あれ、やっただろう！」って、訴えてくるの  
です。でも神様はちがいます。「わたしはゆるし  
ますよ、そして、もうその罪については思わな  
いことにしています」って！神様が、心にと  
めなかったり、忘れたり、思わないなんてでき  
るのでしょうか？ できるのです。神様がご自分  
でそうおっしゃっておられるのですから！

いの祈り 天のお父様、罪を罰することのできるたっ  
たひとりのあなたがゆるしてください、忘  
れてくださるとは恵みです。

## 9月1日(金)

聖書  
聖句

Iヨハネ 1・5~7

御子イエスの血が、すべての罪から  
わたしたちをきよめるのである。7節

わたしたちのどうしようもない罪がゆるさ  
れるたった一つのわけがここに 있습니다。罪を  
犯す人は必ず死ななければならないのです。  
昔は羊や山羊の上に自分の罪をかぶせて、そ  
の動物を殺して血を流しました。今、私たち  
のためにイエス様が十字架で死に、血を流して  
くださいました。一つの罪も犯されなかったイ  
エス様の清い血が流されて、私の身代わりと  
信じるなら、すべての罪からきよめられるので  
す。

いの祈り 天のお父様、ほんとうに「すべての罪」  
から私をきよめてくださるイエス様の  
血の力を覚え、光の中を歩みます。

## 9月2日(土)

聖書  
聖句

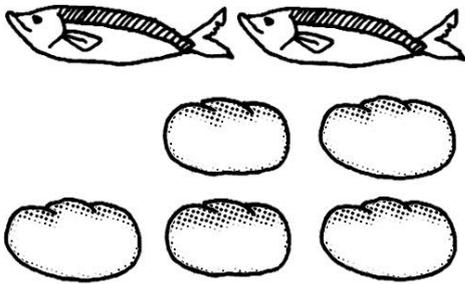
Iヨハネ 1・8~10

もし、わたしたちが自分の罪を告白  
するならば、神は眞実で正しいかたで  
あるから、その罪をゆるし、すべての  
不義からわたしたちをきよめて下さ  
る。 9節

ですから！何よりもまず一番に、私たちは  
罪をゆるしていただくことを求めていますよ  
う。病気がなおっても、罪がゆるされていない  
なら、それはついには永遠の滅びにいたる病氣  
なのです。どうしますか？「自分の罪を告白す  
る」のです。「言いあらわして、お祈りする」の  
です。キャンプでした人もありますか。牧師先生  
にお話して罪を告白して、ゆるしきよめてもら  
いましょう。

いの祈り 天のお父様、イエス様の十字架を私の罪  
の刑罰の身代わりと信じ、罪を告白します  
ので、ゆるしきよめてください。

ラリー・デー



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 14・13~21  
祝福される献げ物  
パンくずの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになった。

目標

マタイ 14・20  
所有する物、また自分自身を、神に献げる。

# 9月3日(日)

聖書  
聖句

マタイ 14・13~21  
パンくずの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになった。 20節

そこには、イエス様のお話が聞きたくてやってきていた大勢の人がいました。男の人だけでも五千人！女の人や子どもたちを入れると一万人はゆうに超えていました。食べ物と言えば、パン五つと魚二ひき。えー?! それじゃどうにもならないでしょ。ところがです。イエス様にお献げしたら、イエス様の感謝のお祈りで、パンと魚は弟子たちの手で配られ、な、なんと！食べこぼしたパンくずが十二のかごいっぱい！

いの祈り

天のお父様、どんな小さなわずかなものもイエス様の御手にさし出すと、すばらしく奇跡的に用いられ感謝です。

# 9月4日(月)

聖書  
聖句

マタイ 14・13~1  
イエスはこのことを聞くと、舟に乗ってそこを去り、自分ひとりで寂しい所へ行かれた。 13節

「このこと」というのは、バプテスマのヨハネさんが獄の中で首を切られて死んだということでした。イエス様はとても悲しまれ、ひとり静かに神様にお祈りに行かれたのですね。私たちも心が痛くなる時には神様のところに行って静まりましょう。しかし、人々はイエス様のところへ歩いてあとを追いかけてきました！それほどにもイエス様のお話が聞きたくてです。さあ、私たちは？ 教会学校でしっかり聞こうね。

いの祈り

天のお父様、イエス様のあとを追いかけてまでお話を聞きにきた人々のように、私もしっかり聞きたいです。

# 9月5日(火)

聖書  
聖句

マタイ 14・15~17  
わたしたちはここに、パン五つと魚二ひきしか持っていません。 17節

夕方になり、人々の心と魂は、イエス様のお話で満たされましたが、お腹がすいてきました！弟子たちが「もう解散させて、それぞれ食べ物を買に行かせましょう」と言うと、「いや、あなたがたの手で食物をやりなさい」と言われます。弟子たちは、「エーッ！イエス様、ここにはパン五つと魚二ひきしかありません」と言います。実はそれは、小さな少年の、その日のお弁当でした(ヨハネ6・9)。どうなる！？

いの祈り

天のお父様、その時の弟子たちや少年のように、私も小さい物しか持っていません。でもお献げしていきます。

## 9月6日（水）



マタイ 14・18～19

イエスは言われた、「それをここに  
持ってきなさい。」 18節

イエス様が、「それをここに持ってきなさい」と言われます。あなただったらどうする？「いやだ！これはね、ボクのお弁当なんだから、ダメ！」って言う？この子どもも弟子たちも、「ハイ」と素直にイエス様にさし出したのです。「草の上ですわりなさい」と人々に言い、パンと魚を手のひらにのせ、天を仰いで祝福し、パンをさいて弟子たちに渡すと、弟子たちはそれを人々に与えました。どんどんどんとね！

いの祈り

天のお父様、何という心暖まるイエス様の愛のみわざでしょう！イエス様の手にのると祝福され用いられるのですね。

## 9月7日（木）



マタイ 14・19～21

みんなの者は食べて満腹した。20節

「みんなの者」って、何人いましたっけ？男の人だけでも五千人です。女の人や子どもを入れると一万人を超えた人たちです。そんな大群衆でしたよ。そのみんなの者が「食べて満腹した」のでした！！たったの五つのパンと、たったの二ひきの魚ですよ！信じられな一い！と思うようなすごい奇跡のみわざでした。そういうわけでこの人々は、イエス様のお話で心も満足、イエス様の奇跡でお腹もいっぱいになりました。

いの祈り

天のお父様、イエス様と共にいることは素晴らしいことです。心もお腹も満たされます。ずーっと一緒にいます。

## 9月8日（金）



マタイ 14・20～21

食べた者は、女と子供とを除いて、  
おおよそ五千人であった。 21節

考えれば考えるほど、なんてスゴイ奇跡だと思いませんか！きっと、一番オドロイテ、カンゲキの頂点にいたのは、そのお弁当をイエス様におささげした少年だったにちがいありませんね！何しろ、そんな大勢の人々に、あの恥ずかしいような大妻のパン五つと小さな魚二ひきとが届けられて、名前も顔も全然知らないような人たちがみんな『満足』するほど食べたのですから。小さい私も小さい物もお届けしたいね！

いの祈り

天のお父様、イエス様の手にお献げする時、その祝福は知らない人々にさえ届くなんて、本当に嬉しいです。

## 9月9日（土）



マタイ 14・20～21

パンくずの残りを集めると、十二の  
かごにいっぱいになった。 20節

朝、パンを食べている人！今頃はだんだんご飯よりパンを食べる人が増えているのかな？パンくずとありますがパン切れともあります。配り残し分もきっとまだあったのでしょ。それらの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになりました。へえ、こんな小さなパンくず、パン切れが…？実は十二人のお弟子さんが一かごずつ持ったとして、明日の食べ物までイエス様が用意してくださったというわけです！

いの祈り

天のお父様、イエス様の奇跡はほんとうに「至れり、尽くせり」です。心から喜んで私も持物を皆お献げします。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 14・22～33  
逆風の中でキリストを見る  
しっかりするのだ、わたしである。  
恐れることはない。

目標

マタイ 14・27  
人生の逆風の中でもキリストを見上げ、信仰を持って前進する。

## 9月10日(日)

聖書  
聖句

マタイ 14・22～33  
しっかりするのだ、わたしである。  
恐れることはない。 27節

自転車に乗れますか？ 追い風だと、後から風が背中を押してくれて、スイスイとよく走れるけど、逆風だと大変ですね。全然進まないばかりか、もうよけて転げそうになります。ここの弟子たちは海の上の舟が乗り物でした。逆風でこぎ悩んでいる時、なんと海の上を歩いて乗られるイエス様を見たのです。「ギャー、幽霊だあ！」って叫ぶ弟子たちは、「わたしだ、恐がるな」とのイエス様のお言葉に安心しました。

祈り 天のお父様、困った時、つらい時、苦しい時、「わたしだ！」と言ってくださり共にいてくださるイエス様を見上げます。

## 9月11日(月)

聖書  
聖句

マタイ 14・22～23  
祈るためひそかに山へ登られた。  
夕方になっても、ただひとりそこに  
おられた。 23節

一人ひとりの人を「さようなら」と言って、お家に帰らせるのって、大変だったでしょうね。それをイエス様がされたのです。しかもその間に、弟子たちを舟に乗り込ませて、向こう岸へ先に行くようにさせました。イエス様は、どうされたでしょう？ お祈りのために山に登られ、夕方になってもまだそこにひとりおられて、父なる神様にお祈りをされました。実はイエス様の愛の奇跡の力は、父なる神様から来っていたのです。

祈り 天のお父様、イエス様はあなたとのお交わりを愛されただけでなく、必要とされていたことがわかりました。

## 9月12日(火)

聖書  
聖句

マタイ 14・24～25  
イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。 25節

弟子たちの舟は…？ 逆風と波に悩まされて、木の葉のように揺れています。イエス様は、山の上からちゃんとその様子を見ていただきました。そして、夜明けの四時頃、一番暗い時に、海の上を歩いて、弟子たちの乗っている舟の方に行かれました。私たちが困っているのも、苦しんでいるのも、悩んでいるのもちゃんとご存知で、海の波のような困難、悩みを踏みつけて近づいてくださるのがイエス様です。

祈り 天のお父様、誰にも知られなくてもイエス様はちゃんと私の悩みを知って近づいてくださり、感謝します。

## 9月13日(水)

聖書  
聖句

マタイ 14・26

弟子たちは、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと言っておじ惑い、恐怖のあまり叫び声をあげた。 26節

逆風はビュービュー吹きつけるし、波はドドーン、バシャーンって舟の中にも入ってきます。それだけで、さすがの漁師だった弟子たちも、青い顔だったでしょう。おまけに、海の上を歩いて近づいてくる影が見えた時、もう彼らの恐れは頂点にきちゃって、叫び声をあげてしまいました、「ギャー、幽霊だ！」って。大の男たちだって、これほど恐い思いをしたことはなかったかも。その影はイエス様なのよね。

いの祈り 天のお父様、恐ろしい思いをする時、そこにいてくださるイエス様をしっかりと見ることができるよう助けてください。

## 9月14日(木)

聖書  
聖句

マタイ 14・27

しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない。 27節

さすがにイエス様です。弟子たちの叫び声を聞くやいなや、「すぐに」彼らに声をかけて言われました、「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と。何て力強い、頼りになるイエス様のお言葉でしょう！ 私たちにも、イエス様はいつでも、どんな時でも、こういうふうな声をかけていてくださるのです。「あっ、イエス様だ」とわかると、もう恐れなくてもいいのです。しっかりと立つことができますね。

いの祈り 天のお父様、これ以上、心が励まされ、安心と力が与えられるみ言葉はありません。共にいてくださるイエス様を感謝します。

## 9月15日(金)

聖書  
聖句

マタイ 14・28~29

ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。 29節

「なあ～んだ、イエス様、あなたでしたか」と、弟子たちはどんなにか心がホッと、嬉しくなったにちがいありません。ペテロがどうしたかを見ればよくわかります。「主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡ってみもとに行かせてください」と言うと、「おいでなさい」とのイエス様のお言葉！ そこでなんとペテロは水の上を歩いてイエス様のところへ行ったのでした。ホントウニ！

いの祈り 天のお父様、イエス様と同じように水の上を歩いてイエス様のみもとに行ったらペテロの大胆と勇気はスゴイです。

## 9月16日(土)

聖書  
聖句

マタイ 14・30~33

ふたりが舟に乗り込むと、風はやんでしまった。 32節

ところが、です。次の瞬間、ペテロはイエス様から目を離して、風を見てしまいました。するとそのとたんに、恐ろしくなってしまう、しかもブクブクおぼれかけたのでした。ペテロは叫びました、「主よ、お助けください」と。ここでもイエス様は「すぐに」手を伸ばし、ペテロをつかまえて言われました、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」。ふたりが舟に乗り込んでいくと風はやんでしまいました。さすがですね。

いの祈り 天のお父様、イエス様を私の心にお迎えしてさえすれば、どんなつらい時、苦しい時も平安でいられます。



聖書  
テマ  
暗唱聖句

出エジプト 2・1～10  
モーセの誕生  
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。

目標

ヘブル 11・23  
危機の中で信仰によって神の助けを求める。

## 9月17日(日)

聖書  
聖句

ヘブル 11・23  
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。 23節

モーセの時代のお話！エジプトの王様は国の中でどんどん増えるイスラエルの人々の力が怖くなり、イスラエルの男のあかちゃんを殺すように命じました。でも、あかちゃんモーセのお母さんは、神様の下さった特別な命を見て、この子に生きていてほしい、いや、この子は生きていく子だ！と信じたのです。だから、見つかったら何をされるかわからなかったけど、恐ろしい王様の命令も恐れませんでした。そして3か月の間、あかちゃんを守り育てたのです。神様に勇気づけられた信仰って強いんです！

祈り

天のお父様、どんな危険なときも、勇気づけられた恐れぬ信仰を下さい。

## 9月18日(月)

聖書  
聖句

出エジプト 2・1～2  
女はみごもって、男の子を生んだ。 2節

この時代、イスラエルの女性が男の子を生むということは、その男の子が必ず死ななければならぬということでした。

王様の命令に、なんの抵抗もできない、力のない、弱く小さな赤ちゃん。けれども、神様は赤ちゃんモーセを見すてませんでした。やがて、この赤ちゃんがエジプトの王様にも勝てる力を神様から与えられる大人になっていくのを、いったいだれが想像できたでしょう！

救おうと思う者を救う、神様のご計画は、わたしたちの想像をはるかに超えているね！

祈り

天のお父様、モーセを守ってくださったあなたの救いの力を私も信じます。

## 9月19日(火)

聖書  
聖句

出エジプト 2・3～4  
子をその中に入れ、これをナイル川の岸の葦の中に置いた。 3節

自分じゃどうにもできず、だれにもお願いできないとき、あなたはどうするかな？

あの赤ちゃんモーセのお母さんも、自分の力だけでは赤ちゃんを守ってあげられないときがやってきました。でもね、お母さんは赤ちゃんを見すてるのではなく、赤ちゃんの運命を神様におまかせする方法をえらんだのです。そして、川岸の葦という草のしげみに、丈夫なカゴに入れた赤ちゃんを、そっとうかべたのです。赤ちゃんのお姉さんも神様がどうなさるのか、ずっと見守っていましたよ。

祈り

天のお父様、どうしようもないとき、わたしの運命をおまかせします。

## 9月20日(水)



出エジプト 2・5~6

ときにパロの娘が身を洗おうと、川に降りてきた。 5節

赤ちゃんがおかれた川岸というのは、なんとエジプト王様の娘（お姫様）が水遊びをする場所でした。赤ちゃんが見つかったら殺されるのが当たり前です！どうしよう！！

でも神様は、お姫様にやさしい、あわれみの心を与えられたので、赤ちゃんを見つけたお姫様はカゴの中の赤ちゃんを「かわいそう」と思い、守ってあげようと考えたのです。

そして、赤ちゃんは、あの恐ろしい殺害命令を出したはずのエジプトの王様の娘の子どもとなって守られていきました。フシギ！

神様は人の心も変えてくださるお方だね！

いの祈り

天のお父様、わたしたちが危ないとき、人の心を変えてでも、ふしぎなことを起こしてくださると信じます。

## 9月21日(木)



出エジプト 2・7~8

少女は行ってその子の母を呼んできた。 8節

お姫様が赤ちゃんを見つかるのをとおくから見ていた赤ちゃんのお姉さん。ただ見ているだけではお姫様が赤ちゃんをつれていってしまい、もう二度と自分の弟に会えないかも。

でもだいじょうぶ！神様はこんなとき、神様を信じる人にはとびきりの勇氣と知恵、恐れなない心を与えるって知ってください。

赤ちゃんのお姉さんは、思いきってお姫様の所に行き「赤ちゃんにお乳をあげられる人をおよんできましようか？」と言いました。そして、赤ちゃんのお母さんをつれてきたのです！

いの祈り

天のお父様、わたしにも、ここというときにはとびきりの勇氣と知恵、おそれない心を与えてください。

## 9月22日(金)



出エジプト 2・9

女はその子を引き取って、これに乳を与えた。 9節

あなたは、神様に自分を守ってもらうことは、自分の力で自分を守るよりむずかしいと思えますか？自分のことは自分で！って思っていますか？

だけど、あなたを造り、あなたのことを全部知っておられる神様にあなたを丸ごとおまかせするとき、神様はけっして悪いようにされないだけでなく、隣んで祝福してくださるよ。

あの赤ちゃんのお母さんが、神様におまかせしたとき、お乳をあげる乳母となってもう一度赤ちゃんといっしょにすごせたいにね。

いの祈り

天のお父様、自分の力でなんとかするのではなく、わたしを丸ごとおまかせします。あなたの隣みと祝福をわたしにもください。

## 9月23日(土)



出エジプト 2・10

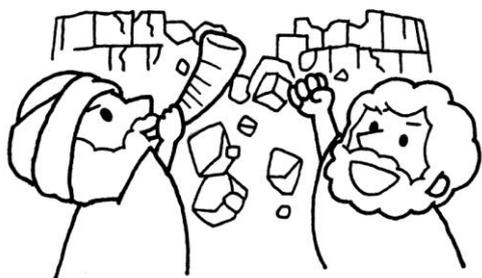
彼女はその名をモーセと名づけて言った、「水の中からわたしが引き出したからです」。 10節

モーセの名前は「引き出す」っていう意味なんだって。

最初は殺されるはずの赤ちゃんだったけれど、神様によって命を引き（助け）出され、エジプトのお姫様に水の中から引き出された赤ちゃんにぴったりの名前だね！それだけではなく、モーセを通して、エジプトで奴隷になって苦しめられていたイスラエルの人々を引き出し（助け出し）たい、という神様のご計画が、この名前にこめられているんだね！

いの祈り

天のお父様、苦しむ人を助けるために、あなたにとっていちばんいいご計画があることを信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨシュア 6・1~20  
ヨシュアとエリコの町  
そうすれば、町の周囲の石垣は、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ぼることができる。  
ヨシュア 6・5

目標  
人間的な方法でなく、神の方法によって勝利を得る。

## 9月24日(日)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・5  
そうすれば、町の周囲の石垣は、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ぼることができる。 5節

イスラエルの人が、大きくて頑丈なエリコの町の壁を崩すためにしたことはなんでしょう？ただ、神様の言うとおりに、壁のまわりを毎日回っただけでした！

わたしたちは、問題が起きると、なんとか自分で解決しなきゃ！と考えてしまいます。目で見えるものだけを信じようとします。

でも、もし、あなたが神様を信じるなら、まずは神様がどう言っているかを知り、神様に従うことが大切なのです！それが一番の勝利の近道なんです！

祈り

天のお父様、一番の勝利の近道であるあなたに聞いて従います。

## 9月25日(月)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・2  
見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたししている。 2節

イスラエルの人がどうやってもたおせないと思う敵の町。だけど神様は「あなたたちはもう勝っているよ！」と言われました。

戦ってもいないのに？そうです！

神様は、神様を信じる人にはどんな問題や悪魔にも勝てる力をくださるお方です。そして、あなたの先頭に立って悪魔と戦ってくださるお方だから！

なんでもできる神様が「もう勝ったよ！」と約束してくれるなら、どんなことにも勇気をもって立ち向かえるよね！

祈り

天のお父様、どんなことにも勝てるあなたの力を信じます。

## 9月26日(火)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・2  
見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたししている。 2節

きのうのお話の続き！あなたは、ごはんを食べる前、学校に行く前、勉強する前、お友だちとあそぶ前、なにかたいせつなことをする前に、お祈りしますか？

ヨシュアは、エリコの町をたおしに行く前、神様のお言葉をしずかに聞きましたよ。そして、心に安心をもらって、今からどうすればよいか、一つ一つ教えてもらったのです。

聖書の中、お祈りの中から神様の声を聞こうとするなら、神様は必ずあなたに心と知恵と力をくださることをわすれないでね！

祈り

天のお父様、なによりもまず、お祈りしてあなたのおことばを聞けますように。

## 9月27日(水)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・3~5

六日の間 そのようにしなければならぬ。  
3節

神様にお祈りしたのにすぐに答えてくれない！もうお祈りなんてやめた！」なんて言っている人はいませんか？

神様は、本当に信じて待っているか、そのお祈りが心からのものか、あなたを見ておられますよ。イスラエルの人たちも、神様に「待つこと」、「神様を信じて従うこと」を教えるもなかったんだ。

神様が用意してくださるふしぎなご計画と時とを信じて待てる、そんなあなたでいてくださいね！神様はいちばん良いときにいちばん良いこたえをくださるからね！

**祈り** 天のお父様、あなたの「時」があることを信じて待ちます。

## 9月28日(木)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・11~14

こうして主の箱を持って、町を巡らせ、その周囲を一度回らせた。11節

神様を信じている人たちがすることを、信じていない人を見ると、どんな風に見えるでしょう？ 賛美したり、お祈りしたり、聖書を読んだり、何の意味があるの？って思われることがたくさん！でもね、神様を知っている人たちには、どんな風に思われても、それはとっても意味のあることなのです！そして、神様を信じている人たちのすることは、信じていない人たちや悪魔を「あっ」と言わせるふしぎな力を生むのです！

そう、あなたのする全てのことに意味を持たせてくださる、それが神様のすばらしさだよ！

**祈り** 天のお父様、神様を信じて行うすべてのことがまわりの人や悪魔に「あっ」と言わせる力になりますように！

## 9月29日(金)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・17~18

あなたがたは、奉納物に手を触れてはならない。  
18節

あなたは、神様が喜ばれないこと、おきらいになることが何かわかりますか？ 神様を信じているのに、神様が喜ばれないことをしていませんか？

エリコの町は、本当の神様に従わない、偶像のたくさんいる町でした。沢山の罪があるこの町を滅ぼすと神様がお決めになったので、その町にあるものは一つも自分のものにしてはいけません、と聖書は言っています。

あなたも、神様に従うなら、神様が喜ばないこと、罪だとわかっていることをしてはいけません！あなたもエリコのように滅びないために！という教えです。

**祈り** 天のお父様、あなたが喜ばないことや罪だと思ふことから離れて生きます。

## 9月30日(土)

聖書  
聖句

ヨシュア 6・19~20

民はラッパの音を聞くと同時に、みな大声をあげて呼ばわったので、石がきはくずれ落ちた。  
20節

武器もあまりなく、戦うための訓練もそんなにしていなかったイスラエルがどうしてエリコに勝てたの？それは、ただ神様が一緒にいて力をくれたから！神様からはなれたらイスラエルは勝てなかったの。神様すごい！

あなたも同じ！あんまり自信がなくて、強くななくても、ただ神様が一緒にいてくださり、あなたが神様のみ言葉に従っているなら、どこで何をしても怖がらずに進んでいけるよ！そして、神様に守られて、悪魔にも勝てる神様の子どもでいられるんだよ！神様に感謝しよう。

**祈り** 天のお父様、私を守り、助け、勝たせてくださるあなたに感謝して毎日を過ごします。